

introduction

本号では、「四肢・関節の変形・機能障害に対する人工関節によらない生物学的な関節再建」について、その現況と展望に関する特集を企画しました。人工関節は高齢者の四肢・関節の変形・機能障害に対する有効な治療法ではありますが、青壮年期における四肢・関節の変形や機能障害に対しては、生物学的な治療を目指す生物学的関節再建術が必要です。運動器の専門家であるわれわれはこれらの方法を習得するとともに、なおも生物学的関節再建を目指すよりよい方法を開発・進歩させていかなければなりません。本特集では、この問題に果敢に挑んで来られたエキスパートの先生方にご執筆いただき、構成しました。

股関節においては、「成人の変形性股関節症や大腿骨頭壊死症や小児の股関節疾患に対する骨盤骨切り術や大腿骨骨切り術」を、膝関節においては、「変形性膝関節症に対する膝周囲骨切り術や骨切り術併用の半月板縫合術」を、足関節においては、「変形性足関節症に対する脛骨骨切り術」を取り上げ、各疾患に対する骨切りによる関節の生物学的再建術の要点や盲点を貴重な症例に基づき、解説いただきました。また、上肢においては、「骨折後変形治療に対する矯正骨切り術や前腕骨長調整のための骨切り術」を詳細に説明いただきました。さらに、肘関節や膝関節の軟骨損傷に対しては、「骨軟骨柱移植術、自家培養軟骨細胞移植術および同種軟骨細胞移植術の現況や展望」についておまとめいただきました。加えて、半月板損傷・切除後の膝関節障害に対しては、「屈筋腱、半月板 scaffold や同種半月板による半月板再建術の開発の経緯や治療成績と問題点および将来展望」をご解説いただきました。

読者の皆様には、本特集が生物学的関節再建術の習得の一助になれば編者として望外の喜びです。また、ご多用のなか精力的に執筆作業をこなし貴重な原稿をお寄せいただいたご執筆の先生方に、編者として心より御礼申し上げます。

島根大学医学部整形外科
内尾祐司